



株式会社サンリツ本社

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
飯笹 浩之

技術で社会を前へ進める

サンリツグループの強みは、電気回路設計・制御システム設計・板金加工・盤組立配線・現地工事・試運転に至るまで、すべての工程を自社グループで一貫して担える「一貫エンジニアリング体制」にあります。この体制は、公共インフラや産業界の重要設備をはじめ、社会を支えるあらゆる現場に対して、設計思想から製造品質、現場施工、最終立ち上げに至るまで責任を持って向き合うための揺るぎない基盤です。単なる内製化ではなく、品質・安全・納期のすべてを一つの理念で貫き、社会の生命線を支える技術を確認な形で提供すること。その覚悟こそが、サンリツグループが長年にわたり多くの現場から信頼を寄せられてきた理由であり、私たちが果たすべき使命そのものです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当グループは、2035年に売上高100億円を実現することを中長期の最重要目標とし、年率18%前後の持続的成長を目指します。その中核となる本社グローバルイノベーションセンター建設は、技術力・生産性・組織力を飛躍的に高めるだけでなく、営業体制と部門連携を強化し、さらに設計力・企画力を高次元で統合するための戦略的プロジェクトです。この拠点をハブとして各拠点の生産能力を底上げし、100億達成に向けた成長基盤を確かなものにしていきます。

課題

- ・新規分野・大型案件への対応力が十分ではなく、公共インフラ・医療・半導体・食品・物流など成長分野への展開や、営業・設計・工事連携した総合提案力の強化が求められる。
- ・盤製造・板金・工事を含む全工程で、生産能力向上や業務効率化に向けた設備投資・標準化・AI・DX活用が遅れており、供給力の抜本的強化が必要である。
- ・設計標準化やAI・DX活用が限定的で、設計力・技術力を競争力の源泉として高めるための体制整備が不十分である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. サンリツ本社グローバルイノベーションセンター建設
 - ・グループ各拠点のマネジメント力を強化し、営業・管理・設計・工事部門を拡張して収容人員を増やし、組織力を高める。
 - ・プログラミングルームと研究ラボを新設し、設計開発ワークスペースを拡充して技術創出力を強化する。
2. 工事会社のM&Aによる施工能力の倍増
3. サンリツ白河工場の移転新設（配電盤製造能力5倍）
4. サンリツシートメタル第3工場建設（大型製品・大型筐体への対応力強化）

実施体制

- 【社内体制】
 - ・社長はグループCEOとして、全社・全拠点・全営業品目を統合する中核的役割を担う。
 - ・管理本部・営業部・設計部・工事部・各工場へ役割と責任を明確にし、全社一体で計画を推進する。
 - ・グループ全体で顧客・案件情報を連携し、ビジネスチャンスを広げる体制を整える。
- 【社外体制】
 - ・協力企業との連携を強化し、施工力・生産力・対応力を補完する。
 - ・金融機関との連携を深め、成長投資に必要な支援体制を確保する。
 - ・外部パートナーと協働し、単独では解決困難な課題を克服する。

○本社所在地：栃木県那須塩原市北弥六402-1
○事業概要：電機制御システム構築、制御盤・受配電盤設計製作、電気設備工事・計装工事・産業用板金加工品設計製作・産業用コンポーネント販売

○常時使用する従業員：90名
（グループ全体・2026年1月時点）

○現在の売上高：20億円
（グループ全体・2025年5月期）

○法人番号：7060001011380

○Web：<https://www.sanritu-e.co.jp/>
：<https://www.sanritu-m.co.jp/>

売上高100億円実現の目標と社内体制

